

予算特別委員会

錦織孝一委員(自民) 立派な社会人を育てるには、知識だけでなく道徳心も重要である。教育において、徳や仁義礼智の教育を進めるため、どのように考え取り組むのか。

教育長 日本人としての心の教育を見直す必要があると考えており、今後、道徳教育や郷土への愛着や誇りを持てる子どもたちの育成のため、「いばらき教育プラン」に基づく取り組みを促進し、たくましく心豊かないばらきの子どもの育成を目指す。

(ほかに、被災した農地・農業用施設の復旧、震災に伴う地殻変動と公共事業の対応なども質問)

佐藤光雄委員(民主) 生徒が安心して受験できるよう、平成二十五年度から導入する新たな県立高校の入学選抜制度の選抜方法などについて、できるだけ早期に公表すべきではないか。

教育長 中学校での進路相談時の参考にできるよう、また、特色選抜の実施予定校がその概要を夏休みの体験入学や学校説明会などで説明できるよう、例年十月に公表する具体的な選抜方法のうち、特色選抜については、予定として七月に公表する。一日でも早く公表できるように最大限努力していく。

(ほかに、河川・湖沼の堤防整備、福祉避難所の整備推進なども質問)

先崎光委員(自民) 風評被害対策として東京銀座に県のアンテナショップ・黄門マルシェが今年七月に開設されたが、品ぞろえやイベントの実施方法など、PR方法の改善が必要である。また、長期の支援が必要なため期間限定ではなく常設化すべきではないか。

理事兼政策審議監 一定のパブリシティ効果はあったが、集客・売上などで課題があるため品目の充実、ホームページの改善や集客性の高いイベント開催などを

行う。開設期間は来年一月までとなっているが、常設化はその効果・実績を見たうえで検討する。

(ほかに、救急車や夜間・救急医療の不適正利用対策も質問)

高崎進委員(公明) 平成二十三年度で終了となる健やかこども基金や介護基盤・処遇改善等臨時基金では、保育所整備や子宮頸(けい)がん等ワクチン接種助成事業、介護職員の賃金引き上げなど、福祉や医療の充実に欠かせない事業を実施している。この基金事業のこれまでの効果と継続の見直しは。

知事 保育所整備による待機児童数の減少や女性や子どもたちの疾病予防、介護職員の処遇改善などに大きな効果があることから、継続した取り組みが必要である。今後とも国に対し、事業の継続や財政支援を要望していく。

(ほかに、中小企業グループの災害復旧支援、災害に強い河川整備なども質問)

萩原勇委員(自民) 本県農業をさらに発展させるためには、高い品質の農産物を生産するとともに、原発事故で低下したイメージの回復が大事だと考えるが、新たな茨城農業改革大綱のもと、どのように施策を進めていくのか。

知事 経営感覚の醸成による「儲かる農業」の実現、新規就農者の定着を促進するための細かな支援、農業の六次産業化などの施策を進めていく。消費者の不安を取り除くため、農産物の放射性物質の検査を行い、的確に情報発信していく。

(ほかに、原発事故に伴う損害賠償、地産地消の推進なども質問)

大内久美子委員(共産) 茨城県長期水需給計画は、八ッ場ダム開発などを前提とし、水需要予測が過大である。人口の減少予測や給水量実績から見ても、

需要増加は見込めず、ますます実態とかけ離れると考えるが、今後の見直しは。

知事 需要予測は、県総合計画の人口予測、井戸から水道への転換、節水機器の普及などを踏まえ、学識経験者による検討委員会を通じて客観的に推計されたものとなっている。見直しについては、国が行っている八ッ場ダム事業の検証結果も見極める必要がある。

(ほかに、国民健康保険の被保険者資格証明書、減免制度なども質問)

山岡恒夫委員(自民) シヤインマスカットのように優れた新品種の開発は、若い農業者が強力なブランドによる農業の将来を描け、生産意欲の向上につながる。今後期待される品種は。

農林水産部長 イチゴの「いばらキッス」はとちおとめよりも糖度が高い。果肉が柔らかいため、パック方法の改良や直売の特化などに取り組んでいく。コギクでは七・八・九月の需要時期に合わせ出荷できる九品種の育成に取り組んできた。色も白、黄に赤紫が加わり、一層の需要拡大が期待される。

(ほかに、科学技術の振興、物流戦略、圏央道沿線地域の活性化なども質問)

●質問者

- 錦織 孝一 (いばらき自民党)
- 佐藤 光雄 (民主 党)
- 先崎 光 (いばらき自民党)
- 高崎 進 (公 明 党)
- 萩原 勇 (いばらき自民党)
- 大内久美子 (日本共産党)
- 山岡 恒夫 (いばらき自民党)

お知らせ

今回の、平成23年第4回定例県議会は、12月2日から12月16日までの15日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議 事 予 定
12.2	金	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
3	土	
4	日	
5	月	議案調査
6	火	議案調査
7	水	議会運営委員会、本会議 (一般質問・質疑)
8	木	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
9	金	常任委員会
10	土	
11	日	
12	月	常任委員会
13	火	東日本大震災復興・ 元気ないばらきづくり調査特別委員会
14	水	決算特別委員会
15	木	議事整理
16	金	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

東日本大震災に係る御見舞金
栃木県議会から本県へ御見舞金が寄贈されました。 金額: 30万円

震災からの復旧・復興に向けて 県議会として取り組んでいます

七月四日、田山議長は、知事と関係団体代表とともに、来庁した東京電力副社長に対し、原発事故の早期収束や全損害に対する補償などを求める申入書を提出しました。

また、八月五日、正副議長は、栃木県議会議長とともに、大島国土交通大臣や関係省庁に対し、原発事故に伴う風評被害や放射能被害に関する緊急要望を実施しました。

さらに、八月二十五日、来庁した東京電力社長に対し、改めて抗議とともに申入れを行いました。

十月三日、田山議長は、知事とともに、自民党本部や細野環境大臣などに対し、第三次補正予算編成に当たり本県を東北三県と同様に取り扱うよう要望しました。

このようなことから、本県に対し特別交付税として百四十億円が配分されることになりました。



大島国土交通大臣(当時)に要望書を手渡す田山議長(右から2人目)と飯塚副議長(右端)



県議会議員

鶴岡正彦氏逝去

鶴岡正彦(つるおか・まさひこ)氏は、去る九月二十二日、ご逝去されました。六十四歳。

鶴岡氏は、平成五年九月の県議会議員の補欠選挙(取手市選挙区)で当選、以来六期、県議会議員の職にありました。

その間、広報、保健福祉、農林水産、決算特別、議会運営、情報、県出資団体等調査特別委員会委員長などを歴任されるときに二度にわたり県監査委員を務められました。ご冥福をお祈りいたします。